

株式会社コンテック

---

---

## 2009年3月期 決算説明会

2009年 5月 22日



1. コンテックグループの状況
2. 2009年3月期 決算 経営成績の概要
3. 中期経営計画の進捗 2008年3月期～2010年3月期

.....

添付資料 会社紹介

# 1. コンテックグループの状況～1



2009年3月期 決算 連結売上高 16,196百万円  
(2008年3月期 決算 連結売上高 21,584百万円)

社名 株式会社コンテック  
設立 1975年 4月 1日  
本社所在地 大阪市西淀川区姫里3-9-31  
資本金 11億1,960万円(2009年3月31日現在)  
(発行株式数 330万株)  
主要株主 (株)ダイフク 65.72%(2009年3月31日現在)  
従業員数 663名(連結) 265名(単体) (2009年3月31日現在)



## ■国内事業所

- 東部支店 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル2F
- 西部支店 大阪市西淀川区姫里3-9-31
- 国内営業所 北関東／立川／神奈川／静岡／名古屋／北陸／京滋／広島／九州

## ■国内子会社

株式会社コンテック・イーエムエス (生産)

## ■海外子会社

CONTEC MICROELECTRONICS U.S.A. INC. (販売)

上海康泰克電子技術有限公司 (販売・開発・生産)／北京康泰克電子技術有限公司 (販売・開発)

台湾康泰克股份有限公司 (開発・生産)

- **2007年度を初年度とし、当2009年度(2010年3月期)を最終年度とするグループ中期経営計画を実行していましたが、大幅な景気後退のため、計画の数値目標の達成が困難な見通しとなりました。**  
このため、現中期経営計画における2009年度業績予想を下方修正いたしました。次期以降の中期経営計画については、環境の変化を見極めながら、下期以降に策定する方針であります。
  
- **2010年3月期 基本方針**
  - ① 売上を増大させるため、コンテックグループが持つ販売から技術・生産・サービスまでの全てにおいて、国内外の「構造改革」を継続し、成果を出す。
  - ② 体質を強化するため、間接経費の大幅削減を実行する。
  - ③ 内部統制システムの実運用で、その成果を出す。

### 連結損益計算書 増減

(単位：百万円)

	2008年3月期	2009年3月期	増減
売上高	21,584	16,196	△ 5,388
売上総利益	4,536	3,237	△ 1,299
営業利益又は 営業損失(△)	572	△ 534	△ 1,106
経常利益又は 経常損失(△)	577	△ 547	△ 1,124
当期純利益又は 当期純損失(△)	438	△ 1,127	△ 1,565

#### 【総括】

景気後退に伴い大幅に売上高が減少いたしました。販管費の削減に努めてまいりましたが、売上総利益の減少が大きく、繰延税金資産の取崩等の要因もあったため、1,127百万円の当期純損失となりました。

## 2. 2009年3月期決算 経営成績の概要～2

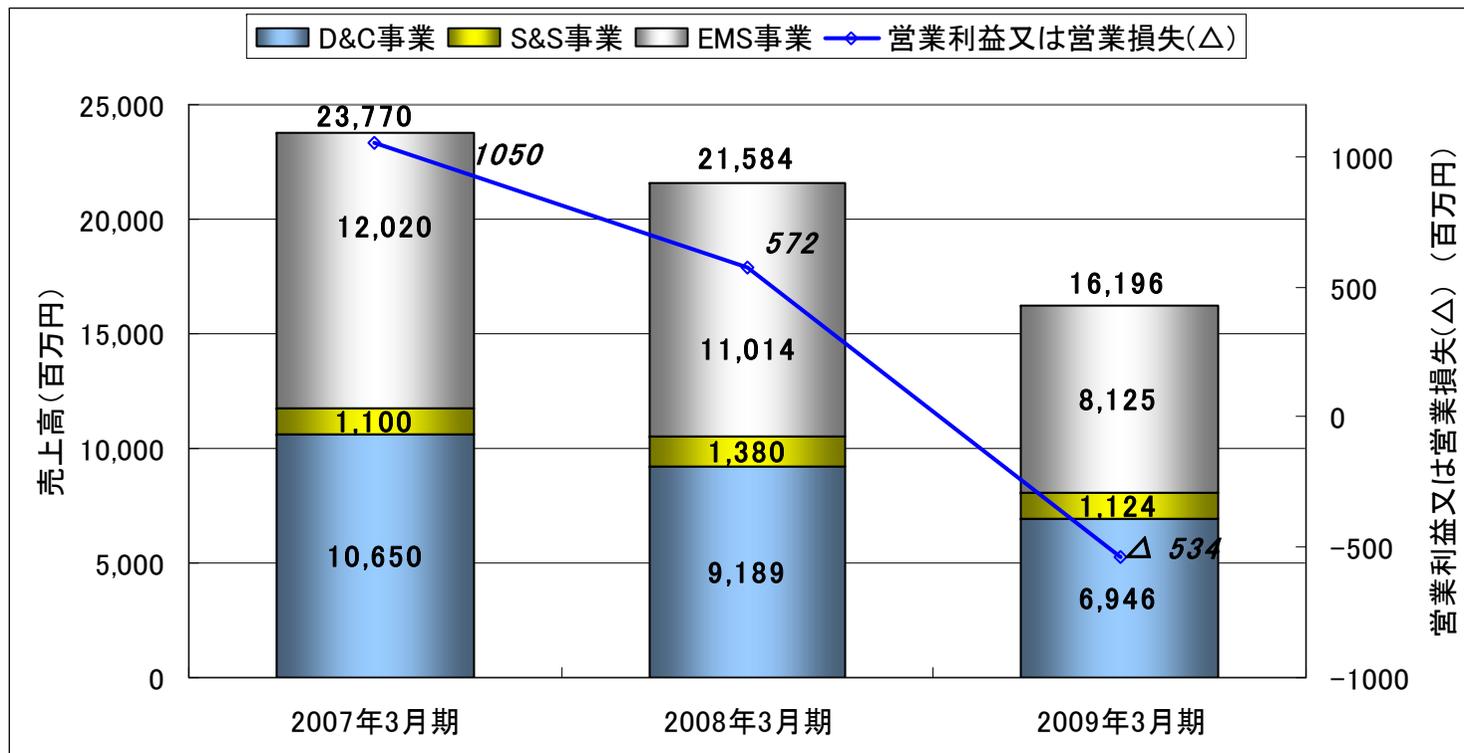


当社グループの事業部門別売上高

(百万円)

事業部門	2008年3月期		2009年3月期		前年同期比(%)
	金額	構成比率	金額	構成比率	
デバイス&コンポーネント(D&C)事業部門	9,189	42.5%	6,946	42.9%	△24.4
ソリューション&サービス(S&S)事業部門	1,380	6.4%	1,124	6.9%	△18.6
EMS事業部門	11,014	51.0%	8,125	50.2%	△26.2
合計	21,584	100.0%	16,196	100.0%	△25.0

【連結】



### ・ デバイス&コンポーネント(D&C)事業部門

- 従来の商品開発を全面的に見直し、顧客ニーズに応えた商品開発を行うと共に、顧客密着型の営業を目指し、営業部門の組織を再編いたしました。
- システム機器ビジネスの事業化に取り組んでまいりました。
- しかしながら、景気後退の影響を受け、売上高は6,946百万円(前年同期比24.4%減)となりました。

### ソリューション&サービス(S&S)事業部門

- 太陽光発電計測システムや遠隔監視システム等のソリューション商品の積極的な販売活動を実施し、これらの分野での受注件数は増加いたしました。
- しかし、自動車業界向けの多くのシステムで、計画が延期する動きとなったため、売上高は1,124百万円(前年同期比18.6%減)となりました。

### EMS事業部門

- 株式会社ダイフクの物流システム部門からの生産受託量減少のため、売上高は8,125百万円(前年同期比26.2%減)となりました。
- EMS事業拡大のため、既存顧客以外からの生産受託を開始した。受注金額は少ないものの、今後の成長が見込まれております。

## 2. 2009年3月期決算 経営成績の概要～4



貸借対照表（連結） 前期末比

（単位：百万円）

科 目	2008年 3月末	2009年 3月末	増 減	科 目	2008年 3月末	2009年 3月末	増 減
<b>資産の部</b>	<b>15,768</b>	<b>12,499</b>	<b>△ 3,269</b>	<b>負債の部</b>	<b>8,975</b>	<b>7,243</b>	<b>△ 1,732</b>
<b>流動資産</b>	<b>11,518</b>	<b>8,744</b>	<b>△ 2,774</b>	<b>流動負債</b>	<b>7,285</b>	<b>5,983</b>	<b>△ 1,302</b>
現金及び預金	2,853	2,245	△ 608	仕入債務	3,882	2,038	△ 1,844
売上債権	4,379	2,682	△ 1,697	短期借入金	2,215	3,208	993
棚卸資産	3,981	3,561	△ 420	その他の流動負債	1,187	737	△ 450
その他の流動資産	356	299	△ 57	<b>固定負債</b>	<b>1,689</b>	<b>1,260</b>	<b>△ 429</b>
貸倒引当金	-52	-43	9	長期借入金	1,200	800	△ 400
<b>固定資産</b>	<b>4,250</b>	<b>3,755</b>	<b>△ 495</b>	その他固定負債	489	430	△ 59
有形固定資産	2,909	2,727	△ 182	<b>純資産の部</b>	<b>6,793</b>	<b>5,256</b>	<b>△ 1,537</b>
無形固定資産	614	365	△ 249	<b>株主資本</b>	<b>6,718</b>	<b>5,417</b>	<b>△ 1,301</b>
投資その他の資産	726	663	△ 63	評価・換算差額等	74	-161	△ 235
<b>合 計</b>	<b>15,768</b>	<b>12,499</b>	<b>△ 3,269</b>	<b>合 計</b>	<b>15,768</b>	<b>12,499</b>	<b>△ 3,269</b>

### 【総括】

資産の部は売上減少に伴い営業資産が減少し、また、繰延税金資産の取崩等もあったため、3,269百万円減少いたしました。

一方、負債の部も1,732百万円減少し、純資産の部は当期純利益の赤字となったため、1,537百万円減少いたしました。

なお、自己資本比率については、43.1%から42.1%と1ポイント悪化いたしました。

### 3. 中期経営計画 (1) 収益の状況 1/2

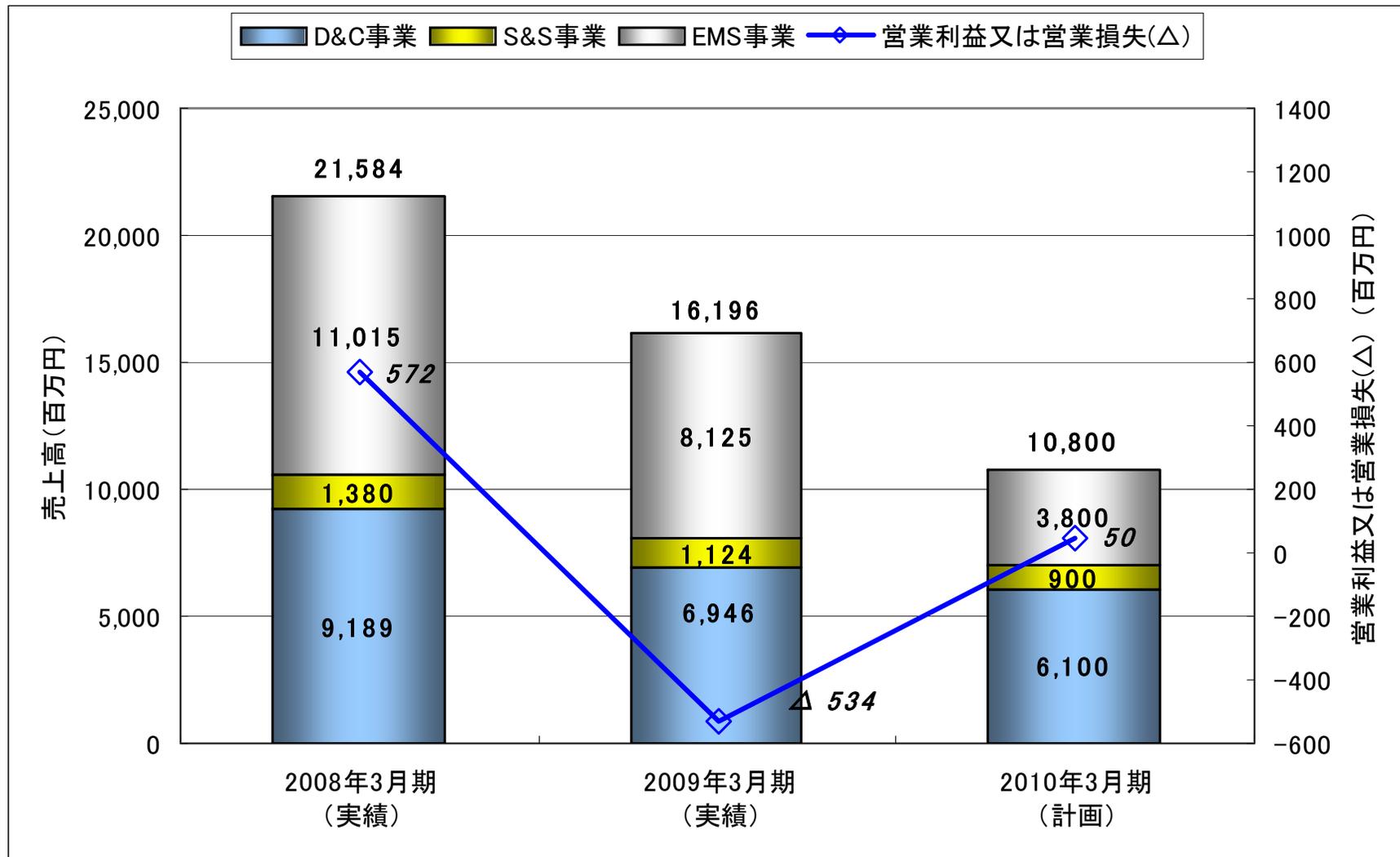


(単位:百万円)

	中期経営計画		
	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (実績)	2010年3月期 (計画)
売上高	21,584	16,196	10,800
(D&C事業)	(9,189)	(6,946)	(6,100)
(S&S事業)	(1,380)	(1,124)	(900)
(EMS事業)	(11,015)	(8,125)	(3,800)
営業利益又は営業損失(△)	572	△ 534	50
経常利益又は経常損失(△)	577	△ 547	20
当期純利益又は当期純損失(△)	439	△ 1,128	50
営業利益率又は営業損失率(%)	2.7%	△ 3.3%	0.5%
ROE(%)	6.5%	-	0.5%
1株当たり当期純利益又は当期純損失(円)	133円	△ 342円	15円
1株当たり純資産額(円)	2,058円	1,593円	1,570円

- ①上記の目標は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、目標数値と異なる可能性があります。
- ②1株当りの算出は、当期純利益・純資産額とも、現在の発行済み株式数(3.3百万株)を分母としております。

### 3. 中期経営計画 (1)収益の状況 2/2



## 基本方針

- ① 売上を増大させるため、コンテックグループが持つ販売から技術・生産・サービスまでの全てにおいて、国内外の「構造改革」を継続し、成果を出す。
- ② 体質を強化するため、間接経費の大幅削減を実行する。
- ③ 内部統制システムの実運用で、その成果を出す。

## コンテックの構造改革

メーカー志向 (標準品ビジネス) から 顧客志向 (CTO・ODM/OEMビジネス) への改革

### <国内販売>

#### 1.代理店対応

プロダクトソリューション営業部

#### 2.直接顧客対応

カスタマーソリューション営業部

- ・提案型営業:顧客に入り込んでの新市場・新用途開拓
- ・課題解決支援型営業:CTO・ODM/OEM案件の発掘

営業

### <海外販売>

#### 1.海外販売を統轄する新会社を設立

業務提携先 ARBOR社と、両社の商品力と販売力で海外販売を強化

サービス

サービス事業の  
立上げと確立

技術

・日・台・中3極技術を融合した  
CTO・ODM/OEM案件の  
短納期開発体制の確立

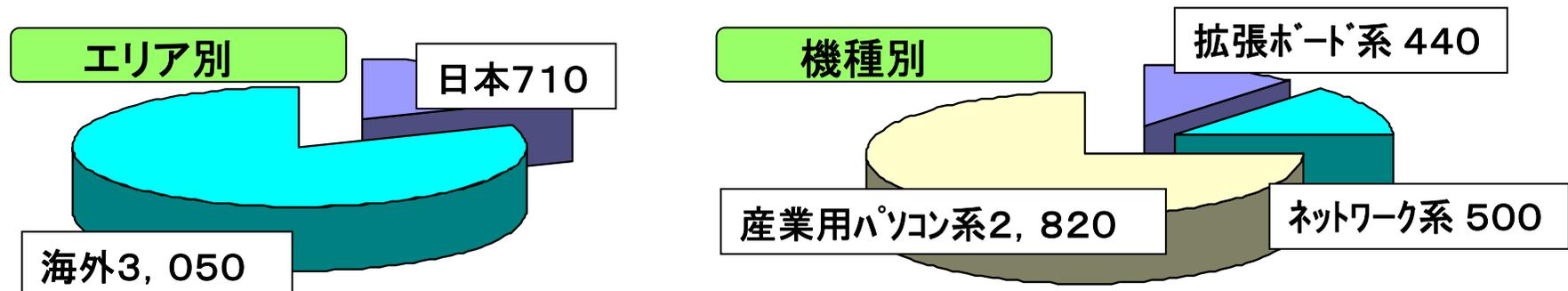
生産

・最適地調達・生産によるCTO・ODM  
/OEM案件の最適納期・コスト実現の  
ための開発センター機能の確立  
・国内工場集結による効率化

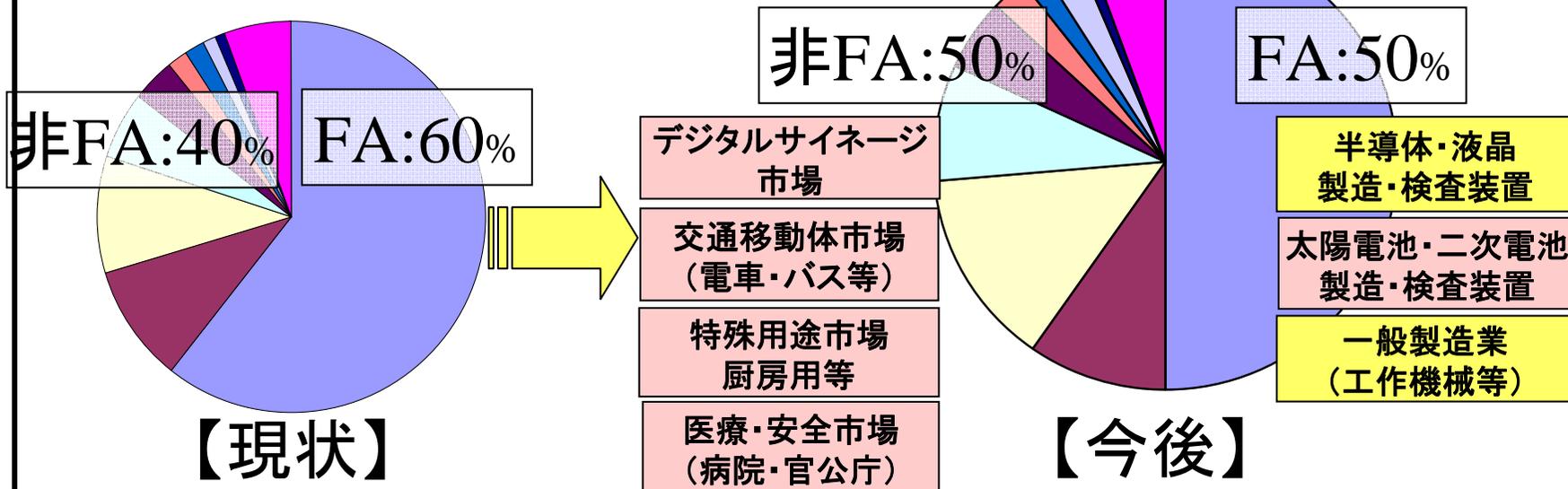
# (3) 市場規模と基本戦略 (D&C事業)

## 電子機器市場(D&C事業) 3,760億円

### 市場規模



### ターゲット市場



## 基本戦略

### ①【機器ビジネスの拡大】“代理店販売”

拡張ボード系

産業用パソコン系

ネットワーク系



新しい機器の  
開発・品揃え

### ②【お客様対応ビジネスの拡大】“直接販売”

ロイヤルカスタマの獲得

計測機器市場へ進出(cTEST)

サービスの事業化



ターゲット顧客/業界  
への深耕

### ③【システム機器事業の構築】

機器

+

ソフトウェア

+

パートナー



システム機器の事業化

パートナーネットワークの構築

### ④【海外市場へのビジネス拡大】



海外新販売会社の設立

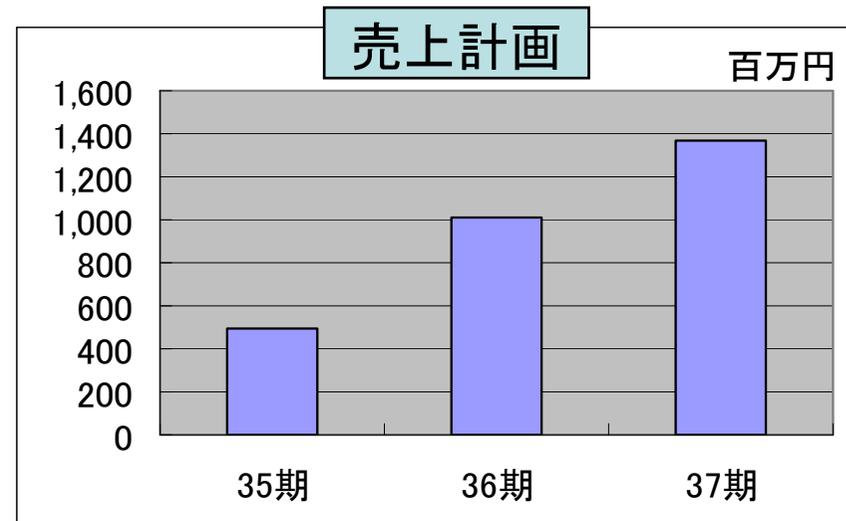
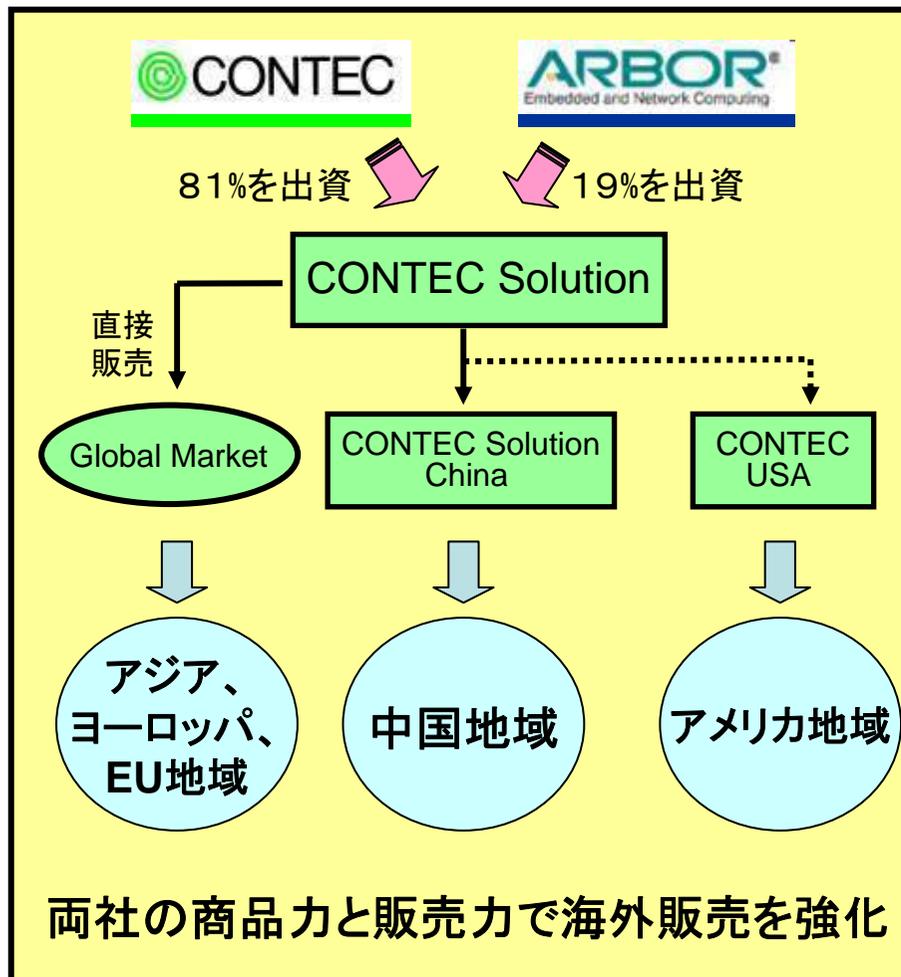
### ⑤【新しい事業の創造】



事業開発本部の新設

## (4) 具体的戦略 海外販売

### 海外ビジネス活性化のため、業務提携先のARBOR社と 海外販売を統括する新会社を設立



#### ARBOR社

1993年に台湾で設立。  
産業用途向けのパソコンやその周辺機器のメーカー。ODM/OEMに強み。  
売上高：約2,000百万円  
資本金：約1,000百万円  
(\*2008年12月末現在で円換算しております。)

基本戦略

ソリューション系

『遠隔監視・太陽光発電関連ビジネスの拡大』

S&S事業

経営資源のシフト

システム系

『自動車業界のみならず、その他FA業界  
向けに 塗装・生産システムビジネスの拡大』

基本戦略

ダイフク

コンテック

『グループ内でのEMS事業の成長』

EMS事業

徹底した  
コストダウン

外販

『グループ外へのEMS事業の拡大』

この資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。それらの計画や見通しなどは、現在当社が入手可能な情報を元に計画、予測したものです。実際の業績などは、様々な条件の変化により異なった結果となることがあり、この資料は、それら計画や見通しなどの実現を保証したものではありません。

株式会社コンテック

---

---

## 会社説明 資料

2009年 5月 22日



## 目 次

### I 会社概要

### II コンテックグループの紹介

1. 事業と製品の紹介
2. 販売体制
3. 開発・生産体制
4. 品質・環境・情報への取組み

# I. <会社概要>



社名	株式会社コンテック (CONTEC Co.,Ltd.)
設立	1975年4月1日
本社所在地	大阪市西淀川区姫里3-9-31
代表者	代表取締役社長 漆崎 榮二郎
資本金	11億1,960万円(2009年3月31日現在)
主要株主	(株)ダイフク 65.72% (2009年3月31日現在)
売上高	76.6億円(2009年3月期単体実績) 161.9億円(2009年3月期連結実績)
従業員数	265名(単体) 663名(連結) いずれも2009年3月31日現在



## ■国内事業所

- 東部支店 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル2F
- 西部支店 大阪市西淀川区姫里3-9-31
- 国内営業所 北関東／立川／神奈川／静岡／名古屋／北陸／京滋／広島／九州

## ■国内子会社

株式会社コンテック・イーエムエス

## ■海外子会社

CONTEC MICROELECTRONICS U.S.A. INC.

上海康泰克電子技術有限公司／北京康泰克電子技術有限公司

台湾康泰克股份有限公司

## ★FA分野に、マイコンに代わるパソコン市場を創造

- 1975年、親会社・(株)ダイフクから制御システム部門の一部が企業内ベンチャーとして独立。
- FA・LA分野でのマイコン応用から、パソコン活用を提唱し市場を創造。
- 1982年、世界に先駆けて「計測制御用インターフェイスボード」を開発。

## ★拡張ボードから産業用パソコンへ、更に無線LANへ

- パソコン機能をボードサイズに凝縮したボードパソコンやFA仕様の産業用パソコンを開発。
- 無線LANの産業用途にいち早く着目、産業向けに適した無線LAN機器を独自開発・生産。

## ★独自技術による開発、強固な営業基盤

- 親会社など外部に依存しない独自の技術力による商品開発。
- 親会社とは違った事業分野での強固な営業基盤。

## ★ファブレスからファブリックへの転換

- 2004年、(株)ダイフクの電子制御生産部門を当社の生産事業に統合、生産子会社(株)コンテック・イーエムエスを設立。
- 本格的な生産機能を持ち、生産量の拡大・設備の拡張によるコストダウンを実現。

## ★開発と開拓とコストダウンによる成長

- ネットワーク社会・ユビキタス社会・ボーダレス社会への進展に伴う事業分野の拡大とビジネスチャンスの飛躍的増大。
- 生・販・技のグローバル展開の加速化による事業基盤の更なる強化。

※FA:ファクトリー・オートメーション、LA:ラボラトリー・オートメーション

# I. <会社概要> 沿革



1975年 4月	株式会社コンテック設立、資本金500万円
1979年 4月	東京事務所(現 東部事業所)を開設
1981年 7月	中国との技術交流スタート
1982年 9月	NEC製パソコン用の <b>インターフェイスボード</b> を開発、販売開始
1986年 6月	米国サンタ・クララに「 <b>CONTEC MICROELECTRONICS U.S.A. INC.</b> 」を設立
1987年10月	中国北京市に「 <b>北京康泰克電子技術有限公司</b> 」を設立
1988年 5月	NEC 製パソコンPC-98バス互換 <b>ボードコンピュータ</b> を開発、販売開始
1990年 9月	中国上海市に「 <b>上海康泰克電子技術有限公司</b> 」を設立
1991年 6月	資本金を2億円に増資
1992年 4月	名古屋市に中部事業所を設置
1993年 4月	<b>工業用パソコン「IPCシリーズ」</b> を開発、販売開始
1995年 4月	ISO9001認証取得
1995年 9月	中国上海・松江工業区に「 <b>上海康泰克数字設備有限公司</b> 」を設立(2006年9月、上海康泰克電子技術有限公司と合併) <b>中国での生産開始</b>
1996年 6月	資本金を4億5,000万円に増資
1999年 3月	<b>無線LAN「FX-DS20」</b> を開発、販売開始
2002年 6月	ISO14001認証取得
2004年10月	日本における生産子会社として「 <b>株式会社コンテック・イーエムエス</b> 」を設立
2006年 1月	台湾台北市に「 <b>台湾康泰克股份有限公司</b> 」を設立
2007年 3月	東京証券取引所市場第二部に上場、資本金11億1960万円に増資 現在に至る

## Ⅱ. コンテックグループの紹介

1. 事業と製品の紹介
2. 販売体制
3. 開発体制・生産体制
4. 品質・環境・情報への取組み

### ① デバイス & コンポーネント事業 (D&C事業)

あらゆる自動化分野において必要な各種電子機器商品を提供しています。

【拡張ボード系  
機器】

【産業用パソコン系機器】  
【産業用パソコン】 【ボードパソコン】 【セットアップパソコン】

【ネットワーク系  
機器】

【システム  
機器】

### ② ソリューション & サービス事業 (S&S事業)

デバイス & コンポーネント商品をベースに、ハード・ソフトを結合した最適システム提供します。

【システム系】

【ソリューション系】

### ③ EMS事業 (Electronic Manufacturing & Service事業)

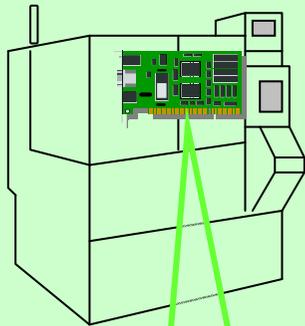
主に(株)ダイフク向けの制御盤・制御モジュール、ワイヤハーネスの受託生産を行っています。

# ①デバイス&コンポーネント事業 (D&C事業)



## 拡張ボード系

拡張ボード系組み込み事例  
ex. 半導体製造装置



アナログ入出力ボード、  
デジタル入出力ボード、  
モーションコントロール、  
画像処理ボード等を  
装置に組込

## 産業用 パソコン系

産業用パソコン系組み込み事例  
ex. 券売機、保険受付端末、  
KIOSK端末 等



仕様により  
選択



パネルコンピュータ



ボックスコンピュータ

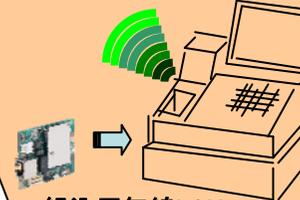


ボードパソコン

## ネットワーク系 (無線LAN等)

無線LAN組み込み事例  
ex. フォークリフト、  
無人搬送車 等

無線LAN  
端末に無線LAN基板  
組み込みの例



組込用無線LAN  
基板

無線LAN  
フォークリフト  
搭載事例  
作業指示・作業報告



車載用  
ボックスコンピュータ

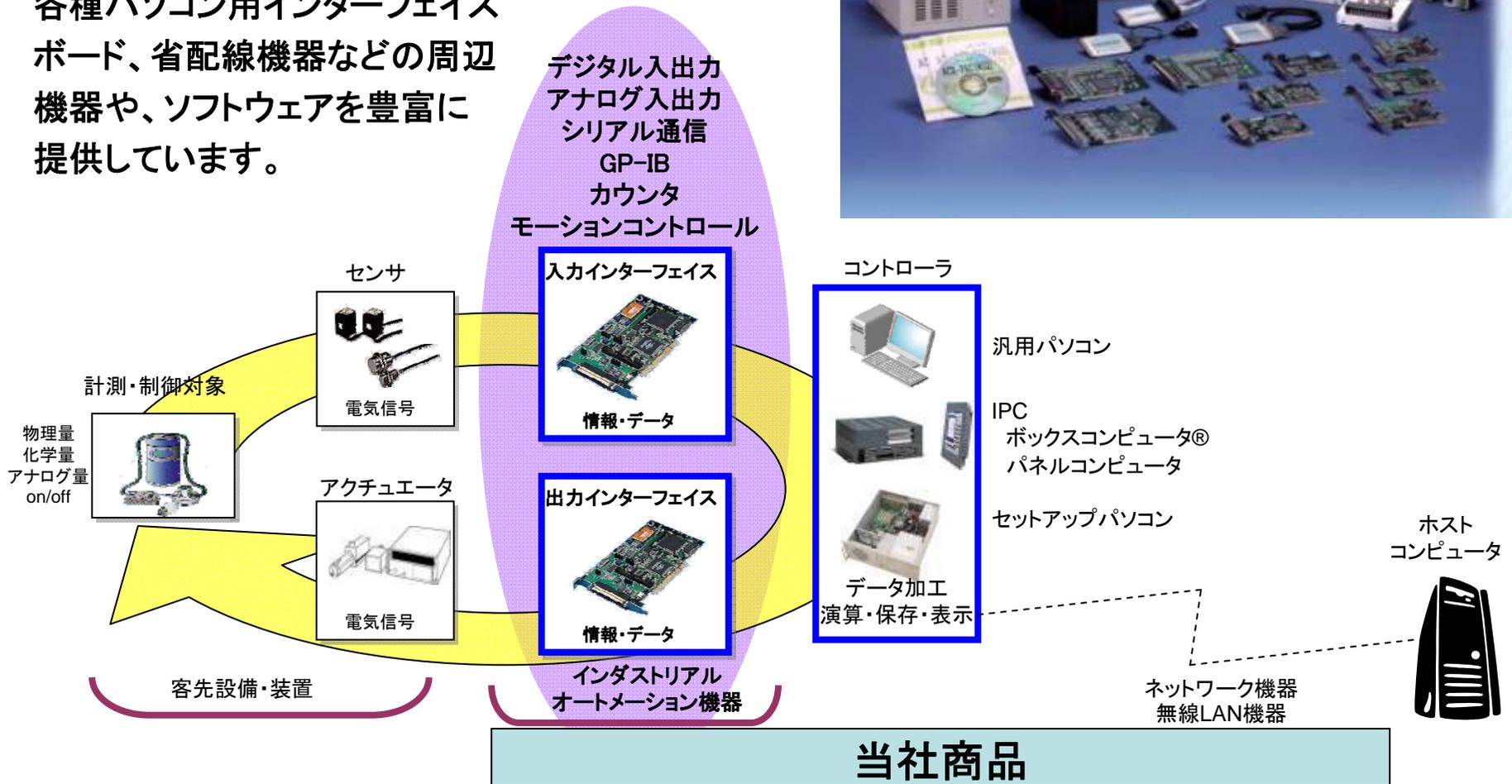
## システム 機器

アプリケーション  
システム ex.. KIOSK



## 事業の内容 a)拡張ボード系

手軽でローコストなあらゆる  
オートメーション構築を可能にする  
各種パソコン用インターフェイス  
ボード、省配線機器などの周辺  
機器や、ソフトウェアを豊富に  
提供しています。



## 事業の内容 a)拡張ボード系

パソコン活用の計測・制御機器や周辺装置でトップシェア(国内30%)

## 検査計測システム向け製品

cTEST(シーテスト)とは、検査計測システム向け製品とソリューション展開の新たなブランド名です。同分野に特化した製品展開を開始するとともに、お客様の課題解決パートナーとしての営業活動をより一層強化いたします。

### 【コントローラ】

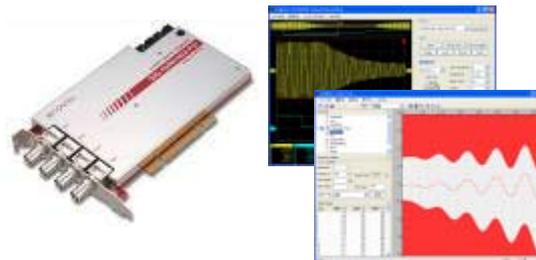
CX-100n



検査計測システムのコスト削減  
計測制御デバイスを標準装備

### 【計測制御デバイス】

DIG-100M1002-PCI



被検物を自動的に合否判定  
100MHz 2チャンネル同時サンプリング

### 【開発支援ソフトウェア】

cTEST Studio Basic

A	B	C	D	E	F	G	H
1	機能	コメント	パラメータ				テスト結果
2	シリアル番号入力	製品シリアル番号の入	シリアル番号				OK
3			SerialNo (12345-67890)				
4	データ出力	デジタル 計測起動	データ1	データ2	データ3	データ4	OK
5			V01 (5.5)	V02 (7.5)	V03 (2.5)	V04 (4.5)	
6	データ入力	デジタル 計測測定	データ1	データ2	データ3	データ4	OK
7			V11 (5.5)	V12 (7.5)	V13 (2.5)	V14 (4.5)	
8	テスト判定	デジタル 計測データ判	データ1	データ2	データ3	データ4	OK
9			V11 (OK)	V12 (OK)	V13 (OK)	V14 (OK)	
10							
11							
12	テスト結果						OK
13							

判定結果

誰でも、現場でも、簡単に  
表形式にプログラミングレスで検査構築

## 事業の内容 b)産業用パソコン系



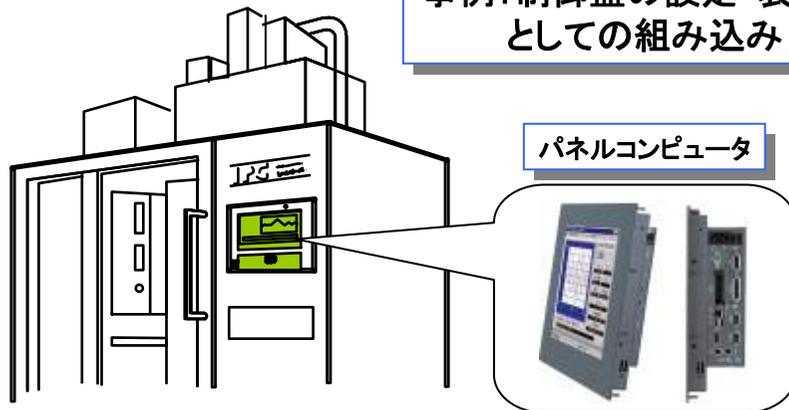
・SBC ・シャーシ ・バックプレーン

各種「産業用パソコン(パネルコンピュータ、ボックスコンピュータ)」と、その核になる「ボードパソコン(各種 Single Board Computer)」及び周辺機器を、高品質と長期供給保証で提供しています。

- ・パネルコンピュータ
- ・ボックスコンピュータ®
- ・フラットパネルディスプレイ
- ・シリコンディスクドライブ

(ボックスコンピュータ®は、  
当社の登録商標。)

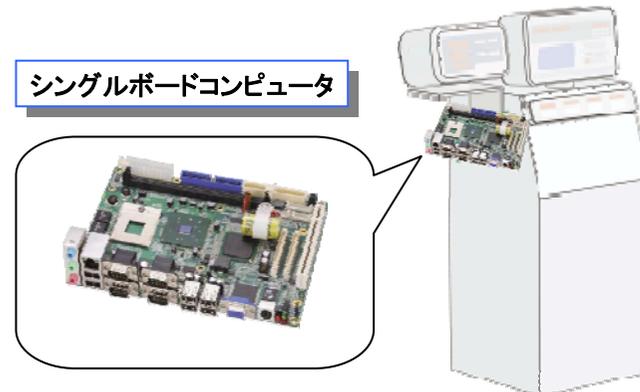
事例: 制御盤の設定・表示器  
としての組み込み



パネルコンピュータ

事例: 多機能端末装置への組み込み

シングルボードコンピュータ



## 事業の内容 b)産業用パソコン系

パソコンFAを提唱する中、“組み込みに適したパソコンを”の要望に応え、20年前に組み込み用パソコン(IPC)の概念を確立し、市場に提供。  
「ボックスコンピュータ®」は 当社の登録商標。

デジタルサイネージにも最適：  
超薄型ボックスコンピュータ：  
BX900、BX950シリーズ

機器の小型化、省スペース化に：  
カスタム要望にも柔軟に対応：  
BX100nシリーズ

NEW



場所を選ばない …… 厚さ25mm～  
動画再生 ……  
高画質静止画再生 ……

★TVへの取付け



37in液晶TV

NEW

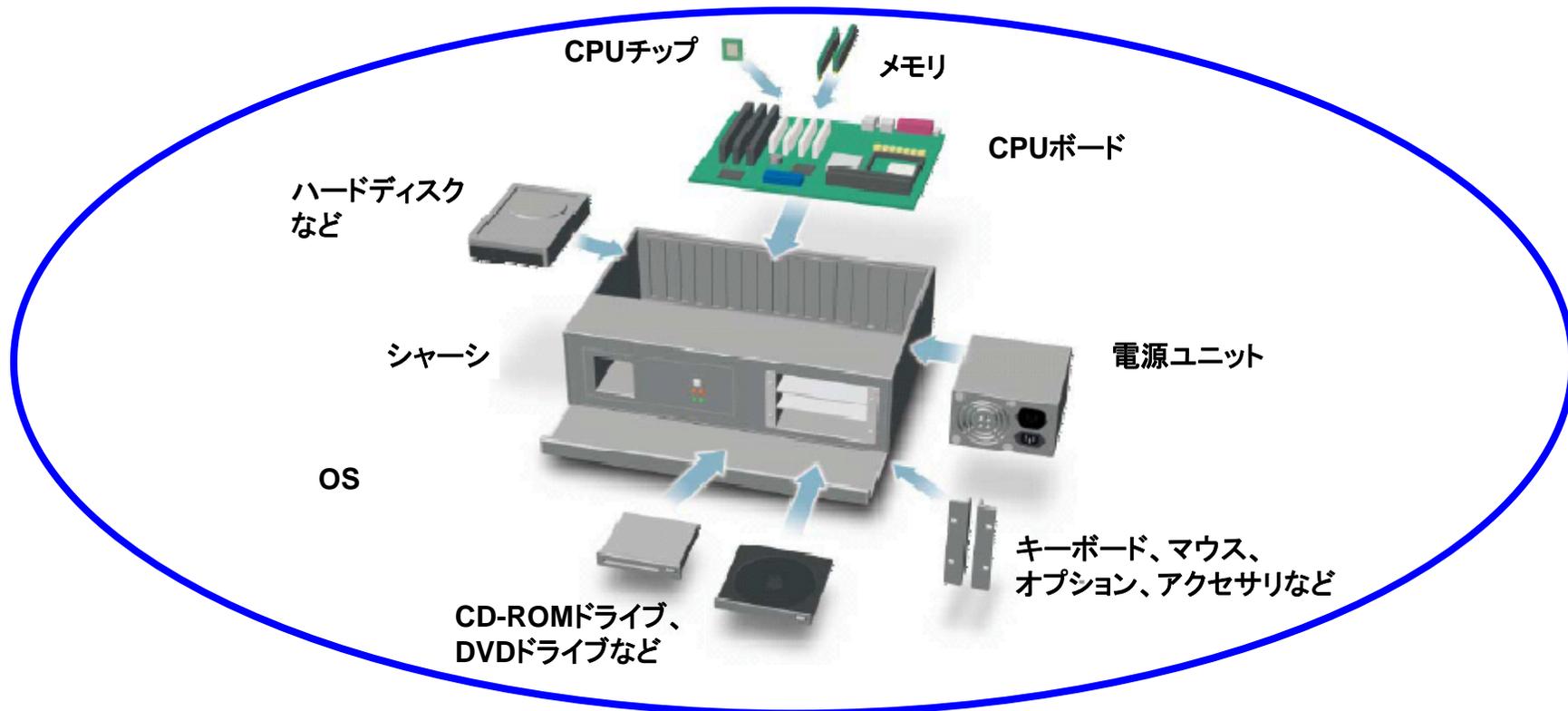


メンテナンスフリー …… ファンレス  
埃に強い …… スリットレス  
容易にカスタム対応可能な入出力機能

## 事業の内容 b)産業用パソコン系

### 「セットアップパソコン」

極めて高い耐久性や信頼性が求められる産業用途向けの組み込みパソコンを、顧客の要望に合わせた仕様にBTO(Build To Order)で提供しています。

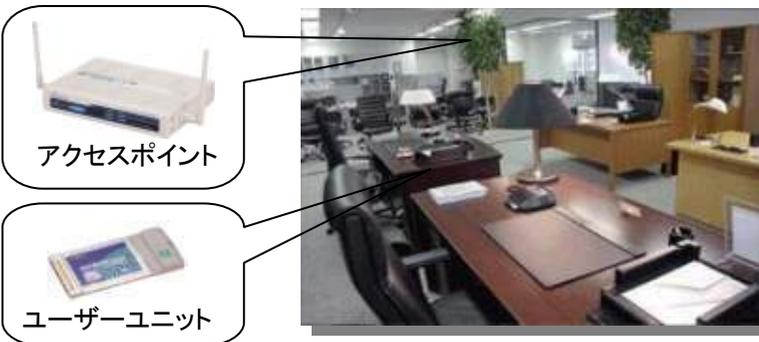


## 事業の内容 c)ネットワーク系

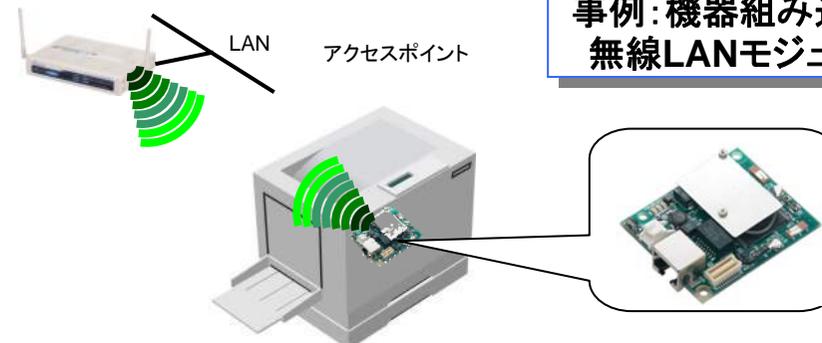
標準規格に加え、独自機能を付加して、セキュリティや管理機能を強化した、自社開発・自社生産の無線LAN機器を、オフィス用途／産業用途に提供。また、その技術をもとに、機器組み込み用無線LANモジュールも提供しています。



### 事例:オフィスの無線LAN

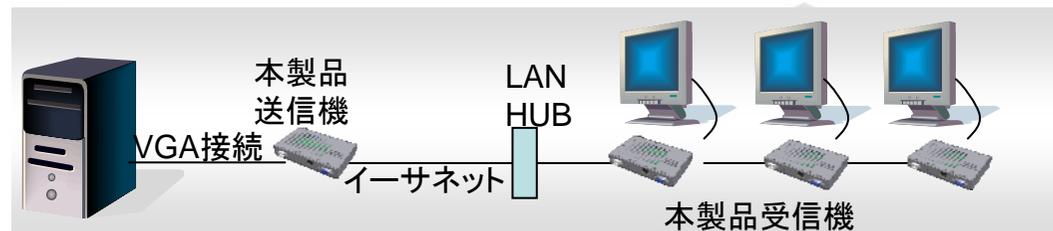


### 事例:機器組み込み用無線LANモジュール



オフィスの無線LAN化以外にも  
病院における電子カルテシステム／看護支援システムの無線化  
流通センター、大規模店舗における受入・検品、POSの無線化  
LAN対応機器の無線LAN化 など

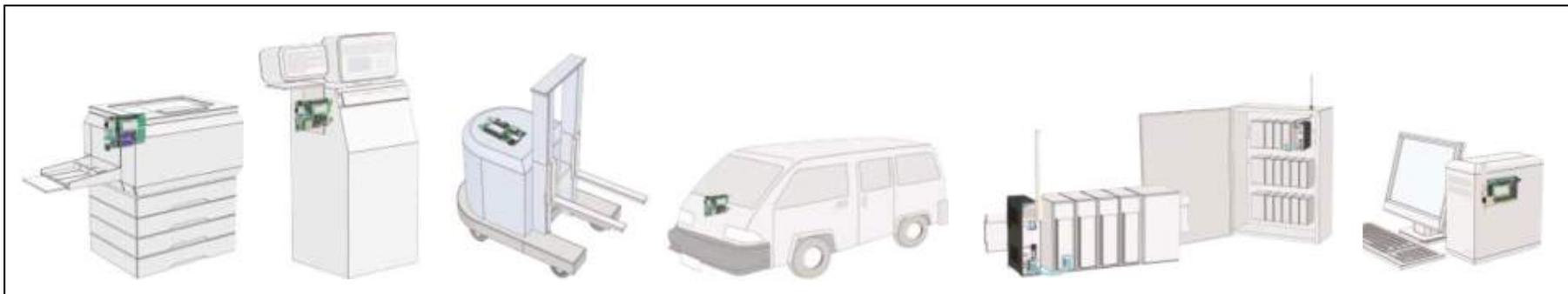
**新商品** Flex Net Viewer  
イーサネット技術を活用した  
画像送信商品



## 事業の内容 c)ネットワーク系

10年前から産業向けに特化した無線LAN製品を手がけ、豊富な実績。

- ハード／ソフトの独自開発・独自生産により、きめ細かなサポート、サービスを実現。最新規格 IEEE802.11n 製品にも対応済み。
- 大手ネットワーク システムインテグレータ各社に取り扱いいただき、オフィス、病院、学校等に導入多数。機能、信頼性、管理ソフトなどで高い評価。
- 豊富な経験を基に、有線LANを無線化する機器組み込み用モジュールを開発。量産機器への組み込み需要が活発化。

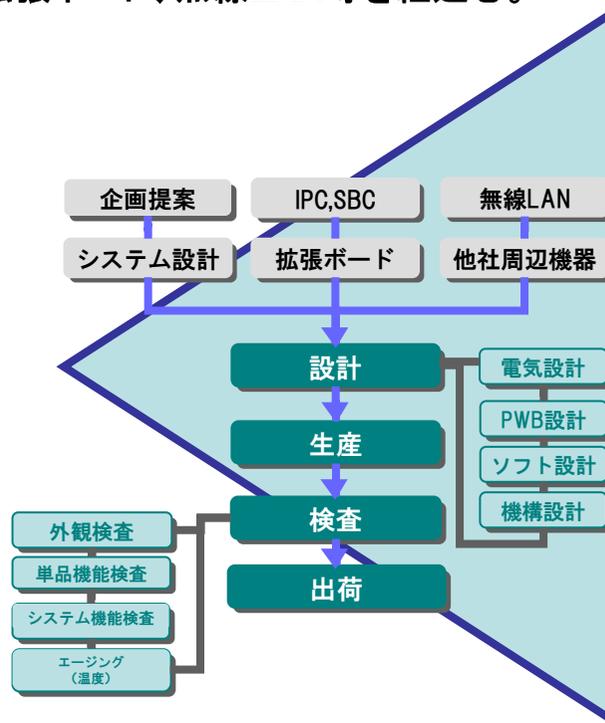


## 事業の内容 d)システム機器

### 事業内容

コンテック製品を組込んだ、KIOSK端末や制御ユニットなどの受託開発・製造・設置・メンテナンスを行います。

産業用パソコン、シングルボードコンピュータ、オペレーティングシステム、ドライバーソフト、各種拡張ボード、無線LAN等を組込む。



■産業用パソコン

IPCシリーズ  
SBC/MB

■拡張ボード

アナログ入出力  
デジタル入出力  
RS-232C/GPIB  
モーションコントロール

■ネットワーク

無線LAN  
スイッチングHUB

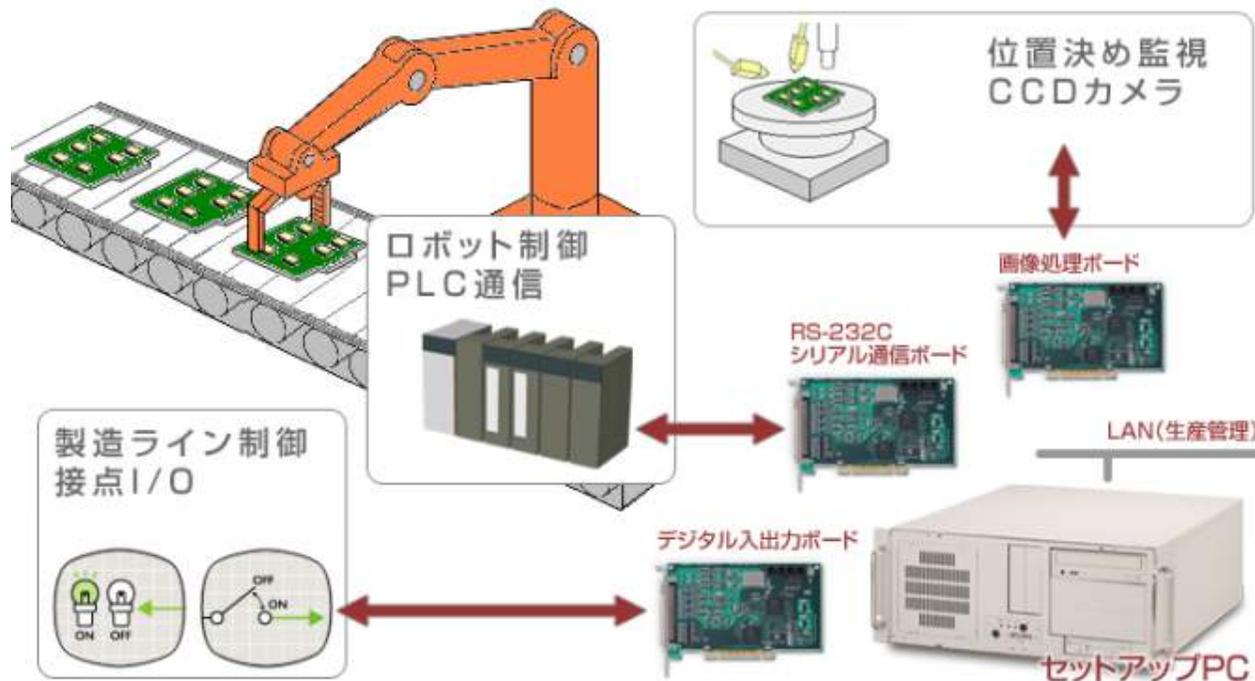
■周辺機器(他社)

ICカードリーダ  
プリンター  
その他

## 事業の内容 : 客先設備でのシステム構築事例

客先設備の中で、当社製品(拡張ボード系機器、セットアップパソコン等)が、組み合わされて、システムを構成しています。

- セットアップパソコンに ・画像処理ボード ・デジタル入出力ボード ・通信ボードをセット
- モニタカメラから画像データをパソコンに取り込み
- パソコンで位置ズレ情報を解析
- ロボットコントローラ、ラインコントローラに位置制御情報を出力
- 位置決め完了にて、ロボットで自動組み立てを行っている……………事例。



### 事業の内容 a)システム系

当社設立時から手がけた国内全ての自動車メーカーに対する自動塗装機制御システムの実績をベースに、近年は各工場の生産管理システムインテグレーションも手がけています。

#### 生産管理システム



- ・生産指示 / 実績収集トータルシステム
- ・トレーサビリティ支援システム
- ・Web情報配信システム

#### 自動塗装機制御システム



- ・Monitoring Package (Paint Pro)
- ・ロボット、自動機制御

## ②ソリューション&サービス事業 (S&S事業)

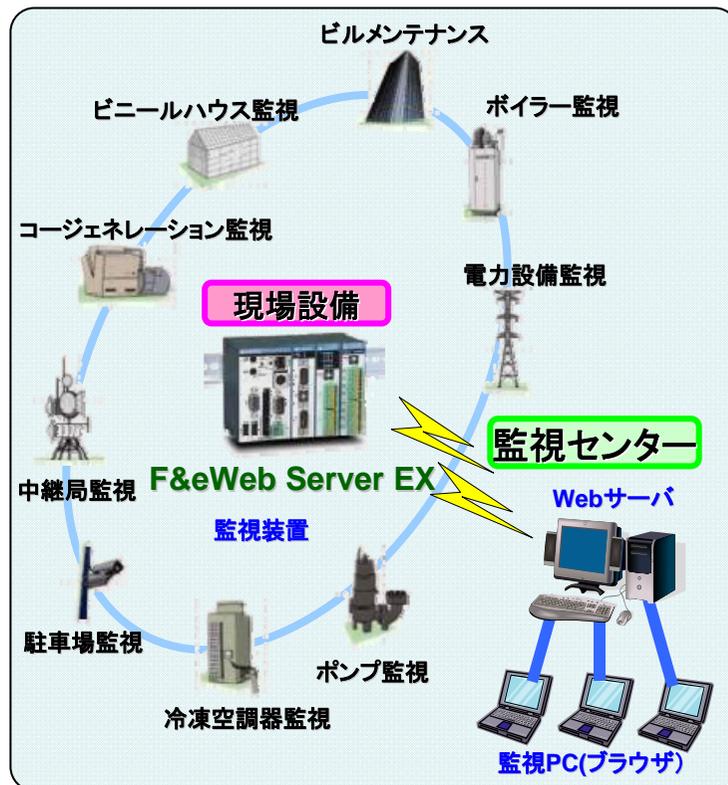


### 事業の内容 b)ソリューション系

遠隔監視用サーバ/パッケージ製品を基軸に、各種遠隔監視ソリューションを受託制作。

ソーラーパネルメーカー/設置業者とのタイアップにより、太陽光発電のデータ収集・表示・管理システムを提供。

#### 遠隔監視システム



#### 太陽光発電データ表示システム



## 事業の内容

生産子会社  
株式会社コンテック・イーエムエス  
において、当社製品の生産を行うと  
同時に、主に株式会社ダイフク  
(親会社)向けの制御用電子機器・  
装置・ハーネスを受託製造

外販EMS事業の展開  
多品種・微量生産に対応可能

コンベヤ制御盤の制作風景



物流装置  
周辺コントローラ



自動倉庫周辺  
ユニットコントローラ



ローラーコンベヤ  
電源接続ユニット



自動倉庫クレーンの  
地上制御盤



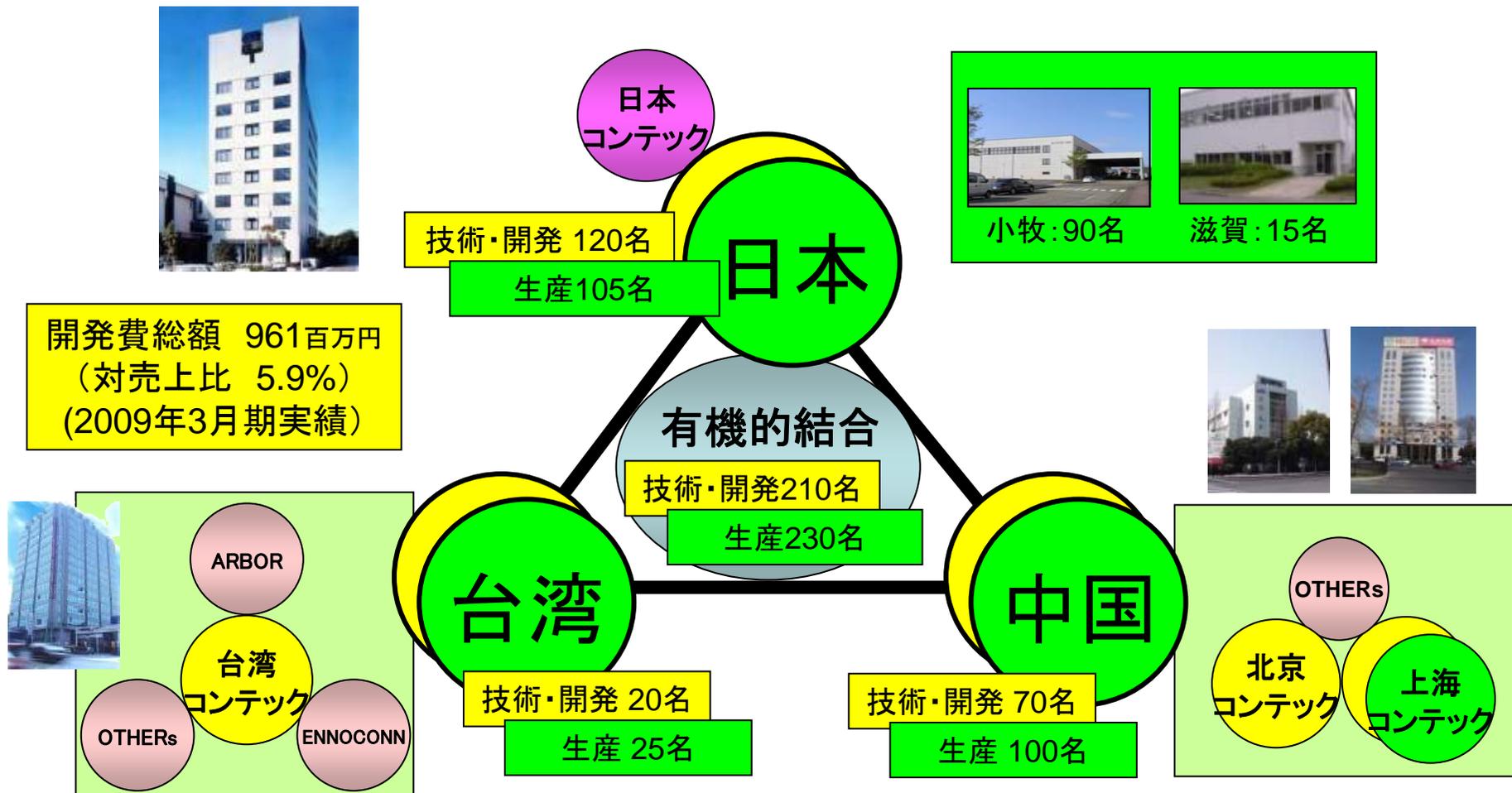
## II. 2. 販売体制

海外販売統括の合併会社 CONTEC Solution(台湾)を  
中核に海外事業の拡大を図る。



## II. 3. 開発・生産体制

# 日本・台湾・中国の3極開発体制の強化による Global開発・生産の推進



## II. 4. 品質・環境・情報への取り組み

### 品質

## ISO9001



ISO 9001:2000, JIS Q 9001:2000  
Approval Certificate No: YKA0937904  
認証取得事業所:  
コンテック、コンテック・イーエムエス

1995年4月  
認証取得

### 環境

## ISO14001



ISO 14001:2004, JIS Q 14001:2004  
Approval Certificate No: YKA0773041  
認証取得事業所:  
コンテック本社、コンテック・イーエムエス

2002年6月  
認証取得

### 情報

## プライバシーマーク



2005年5月  
認証取得

## 鉛フリー化／RoHS指令



2004年11月から  
順次対応